

やまとし こみんか まな
大和市の古民家について学ぼう

きゅうおがわけ

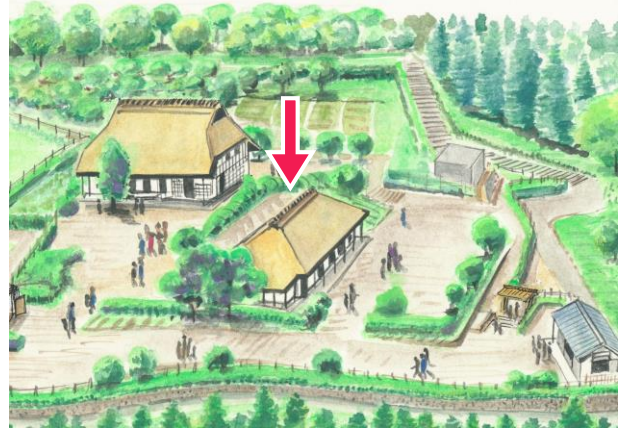
旧小川家

そうけん えどじだいちゆうきごる
創建：江戸時代中期頃

きゅうしよぎいち やまとしかみわだ
旧所在地：大和市上和田

くでんしゅうらく
(久田集落)

やまとしな い げんそん さいこ いえ
大和市内で現存する最古の家



もんだい1

いえ やね なに
家の屋根は何でできているかな？



もんだい2

いえ かべ なに
家の壁は何でできているかな？

もんだい3

いえ なか つち ふぶん
家の中の土の部分は
何をするとところかな？



もんだい4

ばしよ なに
この場所は何をするとところかな？

大和市の古民家について学ぼう

旧小川家 答え

もんだい1 家の屋根は何でできているかな？

家の屋根にはススキの茎くきを使っています。屋根の材料にするススキの茎を「茅」と呼び、茅で作った屋根を「茅葺き屋根」と呼びます。

旧小川家の天井を見上げてみると、どのように屋根を作っているのかが見て取れます。



旧小川家の内側からみた屋根

もんだい2 家の壁は何でできているかな？

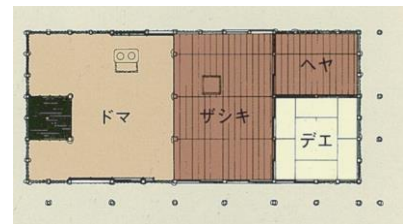
家の壁は土つちでできています。このような壁を「土壁」と呼びます。ただし、普通の土ではなく、竹の骨組みたけ ほねくに土と藁わらなどを混ぜたものを塗り、その上に別の土を塗って、雨などの水に強い壁にします。



土壁の構造

もんだい3 家の中の土の部分は何をするところかな？

ここはドマどまと呼ばれます。土間は、雨の日や夜などの畑はたけに出られない時に仕事の続きをする作業場さぎようばになります。そのため汚れてもよいように、地面が土でできています。またカマドかまどがあることから分かるように、料理をする場所でもありました。



旧小川家の間取り

もんだい4 この場所は何をするところかな？

広い板の間で、囲炉裏いろりがあるこの場所はザシキと呼ばれます。食事をする時には一家全員がザシキに集まり、ザシキの囲炉裏を囲むようにして座りました。座る席は、家の当主・主婦・子どもと、それぞれ決まっていました。また、家の当主夫婦はヘヤで寝て、それ以外の家族はオクとザシキで寝ていました。